

山行報告

■六甲分割縦走シリーズ② ゆっくりリズム山行

- 日 程：1月14日(月・祝)
- 参加者：L藤原(千) SL澤田(律) 兼澤 黒本 笹木 島谷 矢根
- 行動記録：妙法寺駅9:00 発～高取山三角点(10:10 着)10:20 発～安井茶屋(10:50 着)11:00 発～鶴越市民公園(11:54 着・昼食)12:30 発～鈴蘭台水処理場(12:53 着)13:00 発～菊水山分岐(13:15 着)～菊水山下休憩所(13:20 着)13:30 発～菊水山頂(14:05 着)14:30 発～鈴蘭台登山口(15:05 着)15:15 発～鈴蘭台駅(15:25 着)

◆ゆっくりリズム 六甲分割縦走シリーズ②に参加して

黒本

今回の山行は、六甲分割縦走の妙法寺駅から鈴蘭台駅までのルートで、前回同様、私は初めて歩くコースでした。リーダーから「街歩きが多くて、菊水山の上り階段がきついコース。」と、聞き、皆さんについて行けるか不安でした。

天気は、晴れ。降水確率0%。風力1m。と、前回の台風通過後とは、打って変わって好天に恵まれました。

駅前でストレッチをして9時に出発。前回終了したバス停近くまで行き、住宅街の縦走路を抜け、登山道を1時間程歩き高取山に到着。312.8mの三角点がありました。

平成18年に別の場所から移設されたようです。荒熊神社があり、お稲荷さんが祀られています、赤い鳥居のトンネルがありました。

少し離れた高取神社の裏山に高取山山頂(328m)の碑が立っていました。周りには大勢の大神様が祀られていました。



高取神社からの見晴らしが素晴らしく大阪・紀州方面の山々の輪郭もはっきりと見え、大阪のビル群は、屋気楼のように浮かんで見えました。神戸港は、波もなく穏やかで日差しがキラキラと反射してきれいでした。

高取山から鶴越駅まで下山。リタイヤすることなく菊水山に向かいました。駅近くの公園で昼食。Kさんがバーナーを準備してくださり、お湯を沸かし

て暖かい飲み物を頂きました。(休憩時は、体が冷えるので嬉しかったです。)

休憩後は、しばらく街歩きでしたが坂道ばかりで、この辺りに住む人は、足腰が強いだろうと思いました。住宅街を抜け、川沿いを歩き、水道の処理場の裏から登山道に入り、急登階段の手前に休憩場が用意されており少し休憩。「ここからは、40分程ひたすら階段を登ります。」

と、リーダー。数段登り先を見上げたら、後ろにひっくり返りそうになり、足元だけ見て登りました。ここまで来たら、頑張るしかない！一歩ずつ歩けば、いつかはたどり着くはず！と、自分に気合を入れながら進みました。

最後の方は、腰から重りをぶら下げているような感覚で足が重く感じました。途中少し休憩して、山頂の菊水山と書かれた石碑を見た時には、ホッとして体中の力が抜けて、ベンチに座り込みました。しばらく休み、周りの景色を楽しんだら、階段を登った疲れもなくなりました。

菊水山(458.8m)からの展望も最高で展望台からは、西の方向が開けており、淡路島・明石海峡大橋も見えて、高御位山も見えるはずと、皆であの山かな？こっちかな？と盛り上がりました。

菊水山からは、登ってきた階段とは違い、緩やかな登山道から下山しました。下山口でストレッチを入念にして、鈴蘭台駅から電車で帰りました。

今回の縦走路は、落ち葉は、道脇に掃き寄せられて、整備もされていたので歩きやすかったです。天気にも恵まれて、私には、少しハードなコースでしたが、各所で展望を楽しめ有意義な山行となりました。

リーダー様・お茶の準備をして頂いたKさん、ご一緒させていただいた皆様ありがとうございました。3回目も楽しみにしております。

■夕陽ヶ山・善防山縦走

●日 程：1月19日(土)

●参加者：L藤本 SL木下 赤木 乙坂 河合 田中(重) 西川 山本(清)

●行動記録：古法華自然公園駐車場 9:05 発～夕陽ヶ山(9:45 着)9:50 発～コル(11:05 着)～善防山(11:50 着)12:15 発～下里郵便局(12:45 着)～善防山(13:35 着)13:40 発～大柳ダム湖(14:25 着)14:35 発～古法華自然公園駐車場(15:00 着)

◆夕陽ヶ山から善防山へ縦走

乙坂

「縦走」と付くので、いつもの山行よりは頑張りが必要と覚悟で今回は申し込みました。

参加者様達もかなりの健脚な方々、少しばかり年齢の低い私がヘコタレル訳にはいかない、



山行中いつも11時ごろにスタミナ切れを感じていたので、今回は腹持ちの良い朝食を取って備えました。

登山口は藪に覆われ判りにくく、夕陽ヶ山山頂へは30分もよじ登ると到着出来、結構な急登で3点確保しながらだったので、よじ登るといふ表現がふさわしいと感じました。

頂上からは雲海が見られ、とても気持ちいい朝でした。

そこから善防山までは、幾つかの小さなピークがありましたが、なだらかな稜線で藪の中を歩く感じが続きました。

善防山山頂からは加西市が一望でき、山が多いイメージでしたが意外と平坦な土地が広がっているのだなぁと感じました。

北条鉄道が見え1車両の電車が頑張っている姿が印象的でした。

昼食を済ませ、一気に下山そしてまた一気に登り返し頂上へ。ここが一番キツかったですが、ゆっくりと、一步一步止まらず進める事が出来てとてもいいトレーニングになりました。

皆様に付いて歩き通せた事がとても満足です、ありがとうございました。

■宝珠山(赤穂)

●日 程：1月19日(土)

●参加者：La 砂川(延) SLa 尾内 阿部 泉 内海 川井 黒本 砂川(美) 徳本 待場 松井 吉村
Lb 森本 SLb 垣内 大谷 小田(敏) 香川 木村 島谷 高島 松下 松本 村上 安田 矢根

●行動記録：JR 坂越駅 10:00 発～大避神社(10:25 着)10:35 発～妙見寺観音堂 10:40 発～茶臼山城跡(11:10 着)11:15 発～大谷山(11:55 着)12:05 発～みかんのへた山(13:00 着)13:10 発～海の駅(13:35 着・昼食)14:50 発～旧坂越浦会所(15:15 着)15:20 発～奥藤酒造郷土館(15:25 着)15:40 発～JR 坂越駅(16:10 着)

◆日帰り山行宝珠山に参加して

徳本

私にとって坂越という町は、いつも車で通過するだけの町でした。車から見える町はどんなのかなと思っていました。ちょうど坂越ということで興味をもって参加しました。

坂越駅で降りて駅前で準備運動をしました。駅前から30分ほど道路沿いを歩きました。

いつも車で走っている道でした。

歩くととても広く感じました。千種川もとても大きな川だと思いました。

大避神社に着きました。階段を上りました。神社にお参りをしました。蘇我入鹿から逃れた秦河勝が司祭とされている神社でした。とても古い歴史のある神社だと思いました。

妙見寺をめざしてして登りました。

妙見寺観音堂に着きました。観音堂では十二支の彫刻がありました。とても古いものでした。登山道を登って行きました。茶臼山に着きました。茶臼山城跡とありました。坂越湾や生島が見えてすばらしい眺めでした。地図を見るとまだ5分の1ぐらいしか登っていませんでした。これからはどんな山かなと思いながら出発しました。なだらかな登山道を登って行きました。落ち葉がたくさん落ちていました。さざんかが道の周りにたくさん咲いていました。石仏巡回コースと書いた立て札が立っていました。ところどころに石仏がありました。とても整備されている登山道でした。気がつかないうちに宝珠山に登って行きました。山の尾根を登って行きました。

大谷山に着きました。しばらく歩くと坂になっていました。急な坂を下って行きました。

石ころが多くて滑らないように気をつけて下って行きました。

みかんのへた山古墳に着きました。古墳時代(5世紀)の円墳でした。



海には、小島湾に浮かぶ鍋島が見えました。この島にも古墳があって、小島古墳群と呼ばれているそうです。こんなにたくさん古墳があるとは、驚きました。



少し歩くと道路に出ました。海の駅で昼食をとる予定です。海の駅めざして歩きました。やっと海の駅に着きました。お昼は25名で同じ部屋で食事をしました。かき定食を食べてお腹一杯になりました。帰りは、坂越のまちなみを見学しながら帰りました。奥藤酒造郷土館を見学しました。奥藤酒造は、昔は銀行だったそうです。坂越には二つの銀行があ

ったとのこと。昔は、とても栄えていた町だったのだなあと思いました。奥藤酒造では、お酒のお土産をいただきました。

宝珠山、海の駅で食事、坂越のまちなみの散策をして、歴史のある坂越の町を実感した一日でした。また、坂越の歴史を勉強して来ようと思いました。

リーダーの会長さんはじめ、メンバーのみなさん楽しい一日を有難うございました。

◆坂越の山に海の幸

松下

明日は大寒というのに今日は小春日和のようにあたたかく、陽ざしも柔らかい。冬の山歩きにはもってこいの日です。総勢25名で坂越の裏山へ大避(おおさけ)神社から上って行きました。

この神社の拝殿にある絵馬堂には多くの絵馬があり、とりわけ舟絵馬は風雅を醸していたように感じました。宝珠山妙見寺を経て、眺めの良い茶臼山で一服です。

ここからも穏やかな坂越湾全体が見渡せ、キラキラ輝く銀波に牡蠣だなが点々と見え、正面にど〜んと浮かぶひょうたん島のような生島(いきしま)が坂越の町を風や波から守っています。

向かって右手の赤穂方面の海岸には“ごきぶりホイホイ”発祥のA製薬工場も見えます。

この後、大きな山茶花の木々のトンネルをくぐりながら宝珠山を気が付かない間に通過して、本日の最高峰 “大谷山(246m)” を登って、ザレた急坂をいくつか下ると、“みかんのへた山古墳” という興味深いネーミングの山へ辿り着き、ここを最後に小島登山口へ下りました。しかし、本日のお楽しみは下山後もまだまだ続きます。



皆で訪ねた坂越の町は、日本名水100選の清流千種川の河口に位置し、坂越湾一带は瀬戸内有数の清浄海域とされ、

ここで生産される牡蠣は安全で衛生的であるということです。そのせいだろうか・・・小島へ下りて鍋島や生島を眺めながら湾に沿って海縁を歩いても潮の香りがなかったような・・・。そしてお腹がすいた頃、本日の目玉!“海の駅しおさい市場”へ到着です。皆で牡蠣料理など食べたけど、ここの牡蠣はクセのないあっさりとした食味でした。

この後、都市景観100選に選ばれた伝統的建造物の見学へと歩いて行き、旧坂越浦会所、奥藤酒造郷土館、旧奥藤銀行など「大道(だいどう)」と呼ばれる通りの風格ある立派な町並み

を楽しみ、しばし江戸時代へタイムスリップして、帰路坂越駅へと向かいました。奥藤酒造郷土館では美味しい試飲とお土産付きで嬉しかったです。

真冬の1日を穏やかな波間で寛ぐかもめのような気分ではっきりと過ごせました。

計画してくださったリーダー、一緒にくださった皆さん、ありがとうございました。

■春日山・若草山(原始林をめぐる・山焼き見学) ゆっくりリズム山行

- 日 程 : 1月26日(土)
- 参加者 : La 澤田(律) SLa 島谷 有本 高島 中村 平石 廣岡 松下 村上 安田 山下(純)
Lb 藤原(千) SLb 尾内 切貫 笹木 土井 橋本(万) 福田 待場 三木(悦) 矢根
- 行動記録 : 近鉄奈良駅 10:00 集合・10:25 発一春日山遊歩道北入口 10:40～鎌研交番所 11:30
～若草山山頂(11:35 着・昼食)12:15 発～十八丁休憩所 12:20～大原橋休憩所 12:50
～芳山交番所 13:15～首切地蔵(13:20 着)13:30 発～三本杉休憩所 13:50～妙見宮
(14:00 着)14:05 発～南部交番所(14:20 着)14:35 発～春日山遊歩道南入口 14:40 解散

◆春日山原始林をめぐる

切貫

久しぶりの山行き、若草山なら私でも大丈夫かと思ひ参加する事にしたのですがネットで調べると高御位山より高いのを知って心配しました。

当日、各自で切符を買って近鉄奈良駅へ行きトイレを済ませた後は、春日大社本殿前迄バスで移動した後、春日山原始林遊歩道を歩いて若草山山頂へ到着。途中で小雪が木々に積もった雪景色は最高でした。

山頂から金剛山～葛城山～信貴山～生駒山の大展望を見ながらのお弁当、寒かったです。

お腹も大きくなって次は首切り地蔵を見て妙見宮から春日大社へ11kmを歩き終えた後、各班に分かれて花火と若草山の山焼きを見物です。

花火打ち上げ時間を待っている間、私達班は、おうどんを食べた後、TEN・TEN・CAFEで「ぜんざい」を食べた後、お土産物屋さんで時間を過ごした。

花火と山焼きを見た後、直に駅へ向かい電車に乗って帰宅。家には、21時30分に着く事が出来ました。

一度は、行きたいと思っていた若草山の山焼き、こんな素晴らしい企画をして下さったリーダー、そして同行者の皆さんに感謝です。

有難うございました。



■六甲・荒地山

- 日 程 : 1月27日(日)
- 参加者 : L 砂川(延) SL 森本 赤木 大谷 尾越 小田(敏) 乙坂 兼澤 河合 木下 瀧原 田中(重) 田中(美) 田中(由) 田羅間 徳本 松本
- 行動記録 : 阪急芦屋川駅 8:50 発～鷹尾山分岐 9:21～岩梯子(11:00 着)11:20 発～荒地山(11:30 着)11:37 発～風吹岩(12:20 着)12:44 発～七兵衛山(13:20 着)13:25 発～打越峠 13:30～山の神 13:50～阪急岡本駅(14:35 着)



◆荒地山の岩場にトライ!

瀧原

自宅付近は一面の雪景色で今日の六甲山は雪道を歩かないといけないかなと思ってきたのに神戸の街に雪がない!びっくりしたけれど安心した。

芦屋川の集合場所にはあふれんばかりの登山者がいた。Mさんの講釈付の入念なストレッチをして体を温めた後、さあ私たち17名も元気よく出発。

高座の滝との分岐から鷹尾山へ、ゆるやかな山道を木々の間から海を眺めながら歩いていった。鷹尾山を下った鞍部から荒地山への本格的な登りとなる。

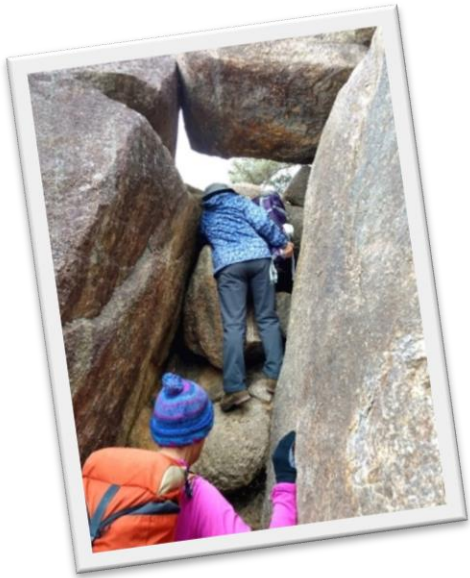
急登で、大きな岩も次々現れ、手を使いながら登っていった。

岩梯子のところ巻道と岩梯子を登る人にと別れた。梯子の名の通り直立しているような大岩を見上げて、私はちょっと躊躇したけれど、今回、岩場にトライすることを楽しみにしていたので岩梯子の方へ行った。前の人が登る様子を緊張しながらじっと見ていた。

毛糸の手袋を脱いで、どこに足を置こうかどこを掴もうか見定めて岩に取り付き、足を上げぐいっと腕に力を入れ体を持ち上げる。よく見れば足がおける場所は必ずある。掴める岩もある。慌てずゆっくり登っていった。

岩梯子の次には大岩の穴がある。私の体とザックでは通過困難とみてザックを先に放り上げようとしたとき、ザックの横に入れていたペットボトルが落ちてしまった。後ろの人に拾ってもらって事なきを得たが迷惑をかけてしまった。大いに反省。腹ばいになって穴を通過し、やれやれと思う間もなく続いて45度(?)ぐらい傾斜した大きな1枚岩が目の前に立ちふさがっている。古くなったロープが付いているが大丈夫?と思った。

1枚岩の表面をよく見ると足がかりになるように数カ所削ってある。ロープを持って岩に上がり、足がかりに足を置きゆっくりと登り終えた。その後、今にも崩れ落ちそうな木の梯子を上り、樹林を抜けてやっと頂上に着いた。もう一方の組はすでに着いていた。



549mの頂上は、雪が薄く積もっていて寒い。写真を撮った後、昼食場所を南斜面の風吹岩に変更して向かうことになった。

地図にない登山道を先導してもらい目的地に着いた。六甲山を熟知されているリーダーだからこそ出来る判断だと思った。そこには1頭のイノシシがいたが、元気な中高年軍団に恐れをなしたのかのっそりと逃げていった。

昼食後は計画通り横池、七兵衛山、山の神へと進み、山行は無事終了した。

いつもハイキング程度の山歩きをしていることが多く、岩場歩きは苦手であったが、今回、岩場を経験して緊張したけれど心地よい満足感を味わった。

一緒に岩梯子を登った方々にサポートしていただいたお陰と感謝です。これからも岩場の技術を習得して、自分が登れる山域を広げていきたいと思う。

締めは有志でザコバにつどい、「お疲れさま会」で楽しく充実した1日は終わった。

リーダーはじめ皆様、ありがとうございました。

■高森ボランティア

- 日 程：1月19日(土)
- 場 所：百間岩下～地徳山下をつなぐ道
- 参加者：上田 木畑 荘所 藤原(千) 和田

◆活動報告

上田

スコップ、ツルハシなどを持って鹿島神社から百間岩への道を行き、この日整備したのは階段の終わった上から地徳山と百間岩をつなぐ道との十字路まで、短い間だが6ヶ所の雨水のはけ口を切り、落葉を取り除いたりして、1時間余りで終了しました。土曜日で登山者も多く「ご苦労さん」との声も聞えました。